

公益財団法人仏教伝道協会

令和5（2023）年度事業計画書

公益財団法人仏教伝道協会は、日本文化の基本でもある慈悲と共生の仏教精神と仏教文化とその学術振興を促進し、現代的理解を弘め、グローバルな啓蒙活動を通して豊かな人間性を育て、より良い社会形成を推進し、もって人類の幸福と世界平和の実現に貢献することを目的とし、その目的を達成するため、定款に定める事業に沿って「令和5年度事業計画」を立案する。

1. 公益目的事業計画（公1）

1. 趣旨（目的）まとめの理由

仏教典籍の現代語訳、外国語訳を行いその刊行、普及事業や仏教関連の各種講座、研究会の開催による仏教精神の啓蒙活動、さらに仏教音楽祭などによる仏教文化の興隆と継承活動、また仏教精神、学術、文化の振興に積極的に関わってきた個人、団体への顕彰・助成等いろいろな支援事業を通して世界中の一人でも多くの人に理解して頂き、豊かな人間性を育て、より良い社会形成促進をもって人類の幸福と世界平和の実現という共通の目的達成の手段であり下記の2-1)から2-3)までの事業は、つながりのあることから一つにまとめている。

2. 事業

2-1) 仏教典籍の現代語訳及び外国語訳による編集とその普及事業

1. 「仏教聖典」現代語訳、外国語訳刊行、頒布事業に関する事項

◇「仏教聖典」各国語訳とその出版について

全世界に仏教思想を伝えるべく、「仏教聖典」の翻訳改訂を進めている。現在、翻訳言語数は46言語に及び、翻訳と共に既刊の「仏教聖典」をより現代に即した内容にするための改訂編纂に努めている。令和5年度は、「和文仏教聖典」の改訂及び補完作業を終える予定である。またマラーティー語の仏教聖典をホームページ上に公開し、翻訳言語数が一言語増える見込みである。

◇「仏教聖典」の普及について

世界の主要ホテルの客室に「仏教聖典」を寄贈常備する活動を行っている。令和5年度は国内外のホテルへ約12,000冊（国内10,000冊、海外2,000冊）の寄贈を予定している。

仏教系学校および保育施設への聖典普及については継続してその頒布に努め、

寄贈 約 28,500 冊、販売 11,000 冊を予定している。また、病院、社会福祉施設、行刑施設、公共機関、海外協力機関等への寄贈活動も継続して行う。

更に令和 5 年度は国外への頒布として、ブータン王国の教育機関・僧院などにゾンカ語版 10,000 冊の寄贈を予定している。

また、「仏教聖典」の副読本である『さとの知恵を読む』は、仏教系学校および保育施設を中心に約 16,800 冊を寄贈する。

「仏教聖典」の一部を抜粋、編集した『ブッダのおしえ』は全国の有名観光寺院、ミュージアム、学校等への約 53,000 冊（日本語版 35,000 冊、各国語版 18,000 冊）の寄贈の他、施本として日本語版 5,000 冊の販売を予定している。また、新たな試みとして、葬儀社を通して 40,000 冊（トライアル分 20,000 冊、販売 20,000 冊）を頒布する。

◇聖典ボランティアによるホテルへの寄贈活動の促進

全日本仏教青年会（略称：全日仏青）とは長く様々な活動を通じて交流を深めている。令和 3 年度より地域に根差した布教活動を実施している全日仏青等のメンバーに「聖典ボランティア」として仏教聖典のホテルへの寄贈活動の支援者として参画を依頼しており、すでに 74 名が登録され、活動支援をいただいている。

◇『簡体字仏教聖典』中国国内頒布について

2020 年に中国にて印刷した『簡体字仏教聖典』1 万冊の中国国内における頒布を中国仏教協会を通じて進めるため、中国にて贈呈式を挙げる予定であったが先方より内部での協議の結果、贈呈式は中止するとの通告があった。

2. 英訳大蔵経の刊行、頒布事業に関する事項

欧米をはじめとする英語文化圏に向けての仏教精神の理解と普及のため、「集大成された仏典」である『大正新脩大蔵経』の英訳刊行事業を日本の仏教伝道協会と米国仏教伝道協会の共同事業として進めている。第一期分として全体量の約 10 分の 1 に相当する 139 典籍の翻訳・刊行を進め、これまでに米国仏教伝道協会より、97 典籍 67 巻を刊行すると同時に、既刊典籍の PDF データを HP 上で公開し、英訳大蔵経の利便性・公共性を高めている。令和 5 年度も翻訳を進め、第 68 巻目となる『法苑珠林⑥』等 3 冊の出版と公開、新刊毎に約 200 冊の国内頒布を予定している。

◇「英訳大蔵経」テキスト TEI 化について

TEI (Text Encoding Initiative) とは人文学資料デジタル化の世界基準でテキストのメタデータをインターネットで効率的に共有する規格である。この基準に準拠した英訳大蔵経のデータ作成を行う。令和 5 年度は既刊の英訳大蔵経の 3,700 ページ分の TEI 化作業と、『妙法蓮華経』『浄土三部経』等の主要典籍 1,200 ページ分の SAT とのテキストデータリンクの作成を行う。

3. その他仏教書籍の出版、頒布に関する事項

仏教の精神文化の裾野を広げるためカレンダー・仏教書籍を制作、全国の寺院、学校、保育施設等へ頒布する。

◇「一日一訓カレンダー」の普及について

「仏教聖典」や古今の名言から文言を選び、日々の暮らしに仏教を活かすツールとして日めくりの「一日一訓カレンダー」を作成している。

令和2年度より新シリーズ「六波羅蜜」の刊行を開始し、令和5年度は『一日一訓カレンダー—精進—』として壁掛け版 110,000 部、卓上版 7,000 部の合計 117,000 部を印刷、国内外の寺院、ホテル、病院諸施設等を中心に販売・寄贈する予定である。なお、カレンダーに掲載する写真については、令和4年度の第9回フォトコンテストで入選した作品を使用する。

◇「一日一訓カレンダー」フォトコンテスト及び写真展の開催について

平成26(2014)年より「一日一訓カレンダー」の文言に併せて掲載する写真を広く一般から公募し、写真を通じて仏教に親しんでもらうためのフォトコンテストを実施している。

昨年度に引き続き、「第10回一日一訓カレンダーフォトコンテスト」を開催し、「2025年用一日一訓カレンダー(2024年刊行)」に掲載する写真を公募する。

また令和4(2022)年度「第9回一日一訓カレンダーフォトコンテスト」入選作品の写真展を、令和5(2023)年4月11日～6月4日に東京・築地本願寺、6月9日～8月27日に京都・平等院ミュージアム、9月1日～10月23日に宮城・瑞巖寺にて開催する。

なお、平等院では8月3日(木)に宇治市の幼稚園を招待し、本多ちかこ氏による紙芝居会を、8月4日(金)に書家 鈴木猛利氏による書道パフォーマンスを開催する。

◇釈尊絵伝について

令和5(2023)年5月12日～5月21日、北野カルチュラルセンター(長野市)にて「野生司香雪展」を長野市仏教会と共催する。仏伝壁画大下図10幅(大本山永平寺蔵)、釈尊絵伝原画7点をはじめ、長野での画伯の作品を展示する。

また5月13日、同施設にて同絵伝の解説記念講演(講師:神居文彰 平等院住職)を開催する。

◇「みちしるべ」出版について

「一日一訓カレンダー」の文言を、より深く理解するための解説書として施本「みちしるべ」を出版している。令和2年度より六波羅蜜シリーズを開始、令和5年度は4巻目となる『みちしるべ-精進- 不断の努力』を刊行する。執筆者は田中ケネス氏（浄土真宗本願寺派僧侶）、鈴木隆泰氏（日蓮宗僧侶）、細川晋輔氏（臨済宗妙心寺派僧侶）の3名。寺院を中心に約33,000部を頒布する予定である。

◇「こころの絵本シリーズ」YouTube公開について

合計発行部数23万部以上となった、「こころの絵本シリーズ」をより多く方がたに知っていただくため、読み聞かせの映像をYouTubeに公開する。令和5年度は『ぼくのおまいりがながーいわけ』『はしる おじぞうさん』の2作品の動画を公開する。

◇『日めくりブツダせいかつ 2』発刊について

『日めくりブツダせいかつ』の2巻目を令和5年9月頃に刊行する。執筆者は1巻目と同じく宮下真氏。心がかかるくなるブツダのおしえを親しみやすいイラストと共に日めくりで毎日見てもらう形式になっている。主に仏教系学校、寺院などに寄贈を含め約25,000部の頒布を予定している。

2-2) 仏教精神と仏教文化とその学術振興の促進に対する助成と表彰事業

1. 留学生奨学金制度に関する事項

◇外国人留学生奨学金制度について

奨学生が自国に戻り日本で学んだ仏教精神とその文化を広く伝えていただきたいとの願いから、日本で仏教学研究を希望する外国の学者・研究者または学生に対して、外国人留学生奨学金交付制度を設けている。

令和5年度奨学生の募集は、令和4年3月1日から国内外の有名大学や研究機関へ留学生奨学金案内書と推薦書を約150通送付して依頼及びホームページで一般公募を行い、8名の申請があった。

令和4年10月3日に外国人留学生奨学金審査委員会を開催し、次の2名（受給者①、②）が選ばれ、令和5年度外国人留学生奨学金の支給を実施する。なお、令和2年度に採用されたが、新型コロナウイルスの影響により来日することが出来ず受給期間が令和4年9月からに変更となった1名（受給者③）についての支給を継続する。

また令和6年度奨学生の募集を行い令和5年7月末まで申請を受け付け、10月頃に審査を実施する予定である。

受給者情報は下記の通り。

受給者① 氏名：Mingyuan Gao (高明元)

支給期間：1年間(単身)

国籍：中国

日本での所属機関：早稲田大学

指導教授：山部能宜教授

研究内容：「習気/熏習」の概念と「種子」との関係について

受給者② 氏名：Hee eon Pak (朴熙彦)

支給期間：1年間(付帯家族1名あり)

国籍：韓国

日本での所属機関：筑波大学

指導教授：吉水千鶴子教授

研究内容：アティシャの密教思想研究。

受給者③ 氏名：Jonathan Edward Thumas (ジョナサン・エドワード・スマス)

支給期間：1年間(付帯家族2名あり)

国籍：アメリカ

日本での所属機関：東京大学史料編纂所

日本での指導教授：菊地大樹教授

研究内容：院政期の「別所」の成立と中世仏教の展開。

◇日本人留学生奨学金制度について

平成25年度から日本人の学者や研究者が海外の大学や研究機関にて仏教精神とその文化を学び、将来世界のこの分野で大きく貢献してくれることを期待して日本人留学生奨学金制度を設けている。

令和5年度奨学生の募集は、令和4年3月1日から国内外の有名大学や研究機関へ留学生奨学金案内書と推薦書を約150通送付。ホームページで一般公募を行い、1名の申請があった。

令和4年10月3日に日本人留学生奨学金審査委員会を開催し、次の1名が選ばれ、令和5年度日本人留学生奨学金の支給を実施する。また令和6年度奨学生の募集を行い7月末まで申請を受け付け、10月頃審査を実施する予定である。

受給者 氏名：中山慧輝(なかやま・けいき)

支給期間：3年間(付帯家族1名あり)

渡航先：ドイツ・ライプツィヒ大学 インド学・中央アジア学研究所

渡航先での指導教授：Prof. Jowita Kramer(ヨーヴィタ・クラマー教授)

研究内容：『瑜伽師地論』「摂異門分」研究—瑜伽行派の経句解釈—

◇「奨学金留学生交流会」開催について

例年、来日中の外国人奨学生およびその指導教授と、これから留学するまたは既に留学を終え帰国した日本人奨学生を招き、互いの研究内容を共有し、交流を深めていただくための「奨学金留学生交流会」を開催している。コロナ禍で3年間中止をしていたが令和5年度は7月に実施を予定している。

2. 顕彰事業に関する事項

仏教伝道文化賞は、国内外を問わず、仏教精神、仏教文化、仏教学術及び布教伝道など仏教に関わる幅広い分野で貢献された方がたの功績を讃え、また今後のさらなる活躍を願い表彰する賞として昭和42(1967)年に創設された。

長年に亘って仏教伝道文化に貢献のあった方または団体に「仏教伝道文化賞（賞金500万円）」を、また今後の仏教伝道を通じた文化活動の振興が、大いに期待できる方または団体に「仏教伝道文化賞 沼田奨励賞（賞金300万円）」を授与する。

令和5年度は10月19日（木）に贈呈式の挙行を予定している。4月初旬より国内外の仏教各宗派、大学等の教育機関、研究機関、仏教団体、報道機関、政府機関及び専門家等に推薦依頼状を発送、「仏教伝道文化賞」及び「仏教伝道文化賞 沼田奨励賞」の推薦を受け、7月27日（木）に仏教伝道文化賞選定委員会を開催し、令和5年度の受賞者を決定する。

3. 助成事業に関する事項

当協会の事業目的と同じ目的を持ち、その活動を積極的に展開している個人及び団体を選定し、当協会の目的とする事業実現のため国内外で助成支援を行う。助成にあたっては、外部有識者や専門家からなる助成金審査委員会のもと、公正な審査を経て選定、助成する。

令和5年度助成対象 {令和4年度募集分、交付時期（2023年4月～2024年3月）} を審査するため、令和5年1月16日に助成金審査委員会が開催され、審議の結果、下記の団体にそれぞれ助成金を交付することが決定し、令和5年度は国内総額で13,830,000円、海外は、2,940,000円、€113,130、SG\$6,500、NT\$250,000、CAD\$240,000の助成を実施する。

A. 沼田仏教講座新規開設及び運営維持助成金

※申請無し。

B. 海外協力機関活動支援助成金

| 団体名 | 申請事業名称 |
|----------------------|---------------|
| BDK Asia（アジア仏教伝道協会） | 仏教聖典の頒布活動 |
| BDK Taiwan（台湾仏教伝道協会） | 仏教伝道協会の出版物の頒布 |

C. 団体支援助成金

| 団体名 | 申請事業名称 |
|---------------------|---|
| 日本印度学仏教学会 | 日本印度学仏教学会における、情報化対応を介した国際的学術交流及び文化貢献の促進事業 |
| 特定非営利活動法人 鎌倉てらこや | 鎌倉てらこやー大学・寺社・行政・市民ボランティアの協働による地域コミュニティ再興事業ー |
| 公益財団法人 中村元東方研究所 | 公益財団法人として研究調査事業・研究助成事業・顕彰事業・普及事業 |

D. 事業支援助成金 - D-1. 仏教精神・文化普及活動及び人道支援活動

| 団体名 | 申請事業名称 |
|-----------------|---|
| 公益財団法人 全国教誨師連盟 | 教誨師研修事業 |
| H1 法話グランプリ実行委員会 | H1 法話グランプリ 2023 |
| 全国日蓮宗青年会 | 東京レインボープライド 2023 参加による仏教と性的マイノリティーの相互理解促進事業 |

D. 事業支援助成金 - D-2. 仏教学術振興活動

| 団体名 | 申請事業名称 |
|--|--|
| 龍谷大学 龍谷ミュージアム | 2023 年度 春季特別展「真宗と聖徳太子」 |
| 公益財団法人 日独文化研究所 | 日独の三研究機関で開催するワークショップ「仏教とキリスト教の〈自然〉概念」 |
| Verein für Komparative Philosophie und Interdisziplinäre Bildung /KoPhil (比較哲学・学際教育学会 /KoPhil) | KoPhil Lecture Series: Buddhist Philosophy in Dialogue with Contemporary Sciences (現代科学との対話における仏教哲学) |
| Verein für Komparative Philosophie und Interdisziplinäre Bildung /KoPhil (比較哲学・学際教育学会 /KoPhil) | KoPhil Project B: The Comparative Philosophy of the Buddhism (比較仏教哲学) |
| Numata Center for Buddhist Studies (ハンブルク大学沼田仏教学センター) | ハンブルク大学沼田仏教学センターにおける仏教講座運営 |

D. 事業支援助成金 - D-3. 仏教文化財保護活動

※申請無し。

助成金分割交付分

| 団体名 | 申請事業名称 |
|--|---------------------------------------|
| Leiden University (ライデン大学・オランダ) | 沼田仏教講座活動助成 |
| McMaster University (マクマスター大学・カナダ) | 沼田仏教講座設立事業 |
| Chengchi University (国立政治大学・台湾) | 沼田仏教哲学プログラム設立事業 |
| University of Vienna (ウィーン大学・オーストリア) | 沼田仏教講座活動助成 |
| エトヴェシュ・ローランド(ELTE)大学仏教 研究センター (ハンガリー) | 東アジアにおける普賢菩薩の総合研究— 文献学や図像学の調査に基づいて |
| 東京藝術大学大学院美術研究科 文化財保 存学専攻 保存修復彫刻研究室 | 調査・修復・模刻を通じた仏教彫刻文化 財を守る人材育成事業 |

2-3) 仏教精神とその文化興隆にかかわる啓蒙活動と支援事業

1. 啓蒙活動としての仏教関連講座、セミナー、研究会等の運営に関する事項

◇仏教を英語で学ぶ会について

英語を通して仏教精神を学ぶことを目的とし、平成 23 年より「仏教聖典を初歩英語で学ぶ会」を開講。平成 28 年度より外国人観光客の増加に向けて寺院等で英語によるガイドができる人材育成に貢献することを目的とした「Buddhist English Guide プログラム」を開始。同プログラムは令和 4 年度を以て終了し、令和 5 年度からは「仏教を英語で学ぶ会」として、広く英語学習者もしくは仏教に興味がある方に向けての講座を目指し、下記の日程、テーマ、講師で開講する。

| 日程・テーマ | 講師 |
|---|----------------------------------|
| PART 1 英語で学ぶブツダの教え 第1回 4月27日(木) 仏教のはじまり 第2回 5月25日(木) ブツダのさとり 第3回 6月29日(木) ブツダの教え | 大來尚順氏 (浄土真宗本願寺派 超勝寺住職、翻訳家) |
| PART 2 英語で学ぶ日本仏教 第1回 7月20日(木) 大乘仏教とは？ 第2回 8月10日(木) 日本仏教の世界観 第3回 9月14日(木) 日本における 大乘仏教の展開 | リサ・グランバック氏 (龍谷大学講師) |
| PART 3 英語で学ぶ『般若心経』 第1回 10月5日(木) 英語で『般若心経』① 第2回 11月2日(木) 英語で『般若心経』② 第3回 12月7日(木) 英語で『般若心経』③ | 藤田一照氏 (曹洞宗僧侶) |

(定員 会場 60名、オンライン 100名)

(参加費 会場参加・オンライン参加とも通年 13,500円(税込・全9回分)、
各1パートのみ 6,000円(税込、各パート3回分))

(講義時間 18:30~20:00の90分)

◇実践布教研究会について

日本仏教の祖師がたが歩まれた道を、現代に生きる僧侶たちが自ら体験することによって、聞・思・修、一体となった仏道を体験していただき、仏教の現代的理解の促進、ならびに各宗派の僧侶間の交流を推進すべく、各宗派の本山を会場に毎年1回2泊3日にて実践布教研究会を開催しており、現在までにその開催実績は50回を数える。

令和5年度は6月28日(水)から6月30日(金)まで、第51回実践布教研究会として真言宗善通寺派 総本山善通寺を会場に「弘法大師の仏道〜お遍路に学ぶ」をテーマに開催する。また、研究会での講演内容(映像)を編集し、ホームページにて公開する予定。

◇仏教聖典を生活に活かす会について

仏教精神を日常生活に活かすことを目的として、「仏教聖典」を基本教材に、毎月1回(原則、第4火曜日、午後1時30分から午後3時まで専門家の講師を招き、「仏教聖典を生活に活かす会」(全10回)を主催運営する。講座は会場参加とオンライン参加の同時開催とし、講師は、名取芳彦氏(真言宗豊山派密蔵院住職)と松本智量氏(浄土真宗本願寺派延立寺住職)。(参加費:各回会場参加・オンライン参加とも1,000円)

◇仏教聖典を経営に活かす会について

仏教精神を学び事業経営に活かし、また人生の道標の一助とすることを目的とし、おもに事業経営者や社会人を対象に「仏教聖典」を基本教材に、毎月1回(原則、第4金曜日、午後6時から7時まで)専門家の講師を招き、「仏教聖典を経営に活かす会」(全10回)を主催運営する。講座は会場参加とオンライン参加の同時開催とし、講師は、一楽真氏(大谷大学学長)と千葉公慈氏(東北福祉大学学長)。(参加費 各回会場参加・オンライン参加とも1,000円)

なお、4月には、日本仏教への理解を深めると同時に参加者同士の交流をはかることを目的に、「仏教聖典を生活に活かす会」の参加者と合同で、寺院等を訪問し、研鑽する「合同研修会」を開催する

◇BDK シンポジウムの開催について

平成25年4月から、一般の方がたに、より仏教文化、仏教精神の素晴らしさを広く知っていただく機会を提供する為、シンポジウムを企画、実施している。令和5年度は、BDKシンポジウムとして、“一日一訓カレンダーフォトコンテスト「ほとけの心」”10周年記念として、写真を通じて仏教に触れていただく「石仏の魅力とフォト法話」、自分自身の人生の支えや救い(みちしるべ)となった言葉を講師(僧侶)が紹介する「人生のみちしるべ～本物の言葉はあなたを救う」のほか、合計3回から4回の開催を企画検討している。

◇BDK 仏教ヨガ講座の開催について

平成27年度より、健康や美容という視点に焦点が当てられていたヨガを、釈尊が実践していた修行体系(呼吸法)の一つであることに戻り、法話を聞きヨガを行う「仏教ヨガ講座」を開催してきた。

令和3年度からは高野山真言宗僧侶でもあるヨガインストラクターのMOMO氏を講師とし、法話を聞きヨガと瞑想を実践する講座を毎月第1水曜日(午後7時00分から午後8時30分まで)に開催。令和5年度も会場とオンラインを同時開催にて継続する。(参加費 会場・オンラインとも1,000円)

◇仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」について

平成28年度より、仏教の基本的な知識に触れることの少ない方を対象とし、日本仏教の各宗派の基本的な教義や宗祖について学ぶ、仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」を開催している。

令和5年度は、首都圏以外の方へ仏教伝道協会を周知することをねらいとして大阪にて開催する。大阪駅(梅田駅)徒歩圏内のAP大阪梅田東で7回、7月、浄土真宗のみ浄土真宗本願寺派津村別院を会場としてオンライン配信を同時に実施する。なお、令和4年度と同様、8宗派を取り上げ全8回で開催する。開催日程、各回の講師等については以下の通り。

| 開催日程 | テーマ | 講師名 |
|-----------|---------|-----------------------|
| 4月25日(火) | 天台宗・最澄 | 小林恵俊氏(天台宗 正明寺 法嗣) |
| 5月30日(火) | 真言宗・空海 | 天野高雄氏(高野山真言宗 高蔵寺 住職) |
| 6月27日(火) | 浄土宗・法然 | 工藤量導氏(大正大学 専任講師) |
| 7月25日(火) | 浄土真宗・親鸞 | 井上見淳氏(龍谷大学 准教授) |
| 8月29日(火) | 時宗・一遍 | 岩田尚登氏(時宗 満福寺 住職) |
| 9月26日(火) | 臨済宗・栄西 | 松山大耕氏(臨済宗妙心寺派退蔵院 副住職) |
| 10月24日(火) | 曹洞宗・道元 | 宇野全智氏(曹洞宗総合研究センター研究員) |
| 11月28日(火) | 日蓮宗・日蓮 | 互井観章氏(日蓮宗 経王寺 住職) |

(定員 会場 60名、オンライン 100名)

(参加費 会場参加・オンライン参加とも1回1,500円、通年10,000円)

(講義時間 18:30~20:30の120分)

なお、令和元年度から、仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」を経て、もう少し深く学びたいという方に向けた仏教初心者講座”特別編“を企画、開催しており、令和5年度も実施する予定である。

◇「特別坐禅会」の開催について

平成28年度からはじまり、平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和4年度と5回(令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)にわたり坐禅とヨガを組み合わせた「特別坐禅会」を曹洞宗大本山総持寺にて開催してきた。令和5年度も坐禅、ヨガ、精進料理を通じて仏教に触れてもらうため、引き続き総持寺にて開催する。ヨガ講師に日本のヨガ界の第一人者として活躍する綿本彰氏を招き、また曹洞宗僧侶の宇野全智氏よりご講話をいただく予定である。(参加費：精進料理付き7,500円、精進料理なし5,000円)

◇FM大阪ラジオ企画について

若年層へのアプローチと仏教伝道協会の知名度の拡大をはかるため、関西圏をカバーするFM大阪にて、平成30年度より放送を開始したラジオ番組「笑い飯 哲夫のサタデーナイト仏教」(毎週土曜日深夜24:15から15分間)を令和5年度も継続する。

月替わりで僧侶(偶数月)と若手芸人や著名人(奇数月)をゲストに迎え、仏教を広く、わかりやすく伝える。

令和元年以来2回目となる公開収録を、2023年10月東大寺で行い番組のファンとの交流を図り、後日特別番組として放送する予定である。

◇「体感する仏教 ～鎌倉編～」の開催について

「さまざまな宗派のお寺で仏教の実践を体験する」をコンセプトに企画した「体感する仏教 ～鎌倉編～」を2023年10月に開催する。円覚寺での坐禅体験、建長寺での法話と精進料理の昼食を予定している。

◇「輝け！お寺の掲示板大賞 2023」の開催について

お寺の掲示板の標語の写真を撮影し、Twitter や Instagram に投稿してもらい、受賞作品を決定する「輝け！お寺の掲示板大賞 2023」を開催する。第 6 回目となる令和 5 年度も仏教メディアなどの協力を得ながら、7 月 1 日～9 月 30 日まで作品を募集し、12 月 5 日に受賞作品を発表する。

◇オンライン法話会「週刊法話ステーション」について

本企画は、コロナ禍によりお寺でのさまざまな行事が中止や延期を余儀なくされた状況を受けて、令和 3（2021）年 1 月より開始。仏教伝道の原点のひとつである“法話”を広く一般の方がたへお届けするため、ZOOM 配信を使用し毎週、各宗派の僧侶に法話をいただいている。放送回数は令和 5（2023）年 3 月末で 105 回。令和 5 年度もこれを継続する。

◇インタビュー企画「先学に聞く」について

本企画は仏教者（学者、僧侶）へのインタビューとして令和 4 年度より開始。先学の経歴や、論文著作などの研究成果は広く知られている一方で、その人柄や仏教への思い、個人的なエピソードが語られることは多くない。「先学に聞く」ではご自身が仏教徒として伝えたい思い、大切にしている言葉をエピソードと共に紹介していただき、その人となりにより 1 歩踏み込んだインタビューを実施する。

収録した内容はホームページに掲載するとともにインタビュー動画をダイジェストで公開し、広く一般の方や後進の仏教学者等の学問に資するものとする。

◇精進料理教室について

食の観点より、いのちの大切さを再認し、仏教に親しんでいただく講座として季節毎各宗派の講師を招き、精進料理教室を開催する。受講者には講師監修の精進料理レシピを調理デモンストレーション付で紹介するとともに、各回講師による各宗派の食事作法の説明や椅子坐禅、精進料理についての法話、創作精進料理の実食体験を通じて、仏教の教えの一端に触れていただく機会を提供する。

（定員各回 30 名、参加費 1 回 6,000 円、開催時間 17:00～19:00 の 120 分の予定。）

開催日程、各回の講師については以下の通り。

| 開催日程 | 講師名 |
|--------------------|-------------------------|
| 令和 5 年 6 月 3 日（土） | 飯沼康祐師（神奈川県・天台宗福昌寺副住職） |
| 令和 5 年 9 月 9 日（土） | 澤田珠音師（富山県・臨済宗国泰寺派辰口寺住職） |
| 令和 5 年 12 月 2 日（土） | 緑川明世師（東京都・天台宗僧侶） |
| 令和 5 年 3 月 9 日（土） | 浅尾昌美師（東京都・浄土真宗高田派常國寺衆徒） |

◇連続講座「新宗教とは何か」について

令和4（2022）年、世界規模で宗教と政治に関する問題が表面化した。そんな中、日本では伝統宗教よりも新宗教諸団体への関心と偏見は益々強くなり分断が生み出されている。そこで、日本の仏教系新宗教（在家仏教教団）について基礎的な学びを深める連続講座を企画。開祖の思いから教団を取り巻く現状を講演していただき、信者以外の方にも理解の場を提供し、その多様性を包摂する仏教の魅力を知っていただく機縁とする。

仏教伝道センタービル8階を会場として第1回を宗教学者による総論、第2回～4回を各教団に属する研究者による各論、第5回をまとめの回とする。併せてオンライン配信も実施する。

（定員 会場 60名、オンライン 100名、参加費 会場参加・オンライン参加とも1回2,000円、通年8,000円、講義時間 18:30～20:30の120分の予定。）

◇「手作り線香ワークショップ」について

仏教儀式に欠かせない線香を自作するワークショップを7月8日（土）に開催する。講師には寺院での講座実績がある今井麻美子氏を迎え、受講者は仏教とお香の歴史を学び、自らの手で作った線香を持ち帰り自宅で楽しむことができる講座とする。

（定員 30名、参加費 7,000円、講義時間 14:00～16:00の120分の予定。）

◇花まつり展示等について

令和5（2023）年3月24日（金）9時～4月10日（月）10時（※土日は除く）まで、仏教伝道センタービル1階ロビーにて、全日本仏教会主催「第6回花まつりデザイン募集」の入選作品の原画14作品（大賞4作品、特別賞1作品、佳作9作品）を展示する。

また全日本仏教婦人連盟より提供の「花の種」、大和証券株式会社より提供の「サクマドロップ」を配布する。

なお、期間中は中国料理 菩提樹「特製 精進カレー」を提供する。

◇願いの一字コンテスト2024について

2024年新年の希望の一字を公募し、揮毫する「願いの一字コンテスト2024」を開催する。漢字の公募期間は2023年10月15日～12月15日。発表は、2024年1月5日（金）大本山増上寺（港区）にて、書家 鈴木猛利氏が揮毫する。揮毫した書は、掛け軸に表装し保管する。

◇広報活動について

各開催講座やイベント等の情報はホームページ、LINEやFacebook等のSNS、チラシなどを利用し、広く一般に情報を発信し、多くの方の受益の機会を開くものとする。

2. 仏教音楽の現代化とその普及事業について

伝統的宗教音楽を継承すると同時に、仏教音楽の現代化を進め、広く仏教精神とその文化に親しんでいただくことによって、仏教的基盤の確立を目指し、仏教音楽にちなんだコンサートや、新しい仏教音楽の作品募集などを行っている。

令和5年度は、音楽普及委員会を1回開催する予定。

また「第21回仏教音楽祭」として、9月2日、ドイツのロベルトシューマンザールにて築地本願寺雅楽会によるコンサートを開催する。

3. 三田落語会の事業について

協賛団体として、3公演分の協賛広告費を支出する。

4. 貸し会議室事業に関する事項

◇公益目的事業としての施設の貸与事業について

仏教伝道センタービルの施設を有効活用し、公益目的事業として施設の貸与事業を行う。当協会が公益財団移行後に公益目的として掲げる“豊かな人間性を育て、より良い社会の形成を促進しもって人類の幸福と世界平和の実現”に貢献する事を目的とした会議等を開催する公益法人、社会福祉団体、NPO法人、市民団体等を優先し、通常（一般）は3ヶ月前からの予約受付に対し、6ヶ月前から予約を受け付け、通常（一般）価格の半額で貸出し、多くの公益目的事業を側面から支援することによって、社会貢献する。

II. 収益事業計画（収1）

◆収益事業としての施設の貸与事業に関する事項

仏教伝道センタービルの施設における公益事業目的で当面使用予定のない空きスペースならびに空き時間を一般に向けて貸与する事業を令和5年度も継続して行い、利益のうち50%を公益目的事業に寄付する予定である。

III. その他

本事業計画に掲げるもののほか、この法人の目的達成のため、必要と認める事業を行う。

以 上